

北部機械金属業界の景況動向

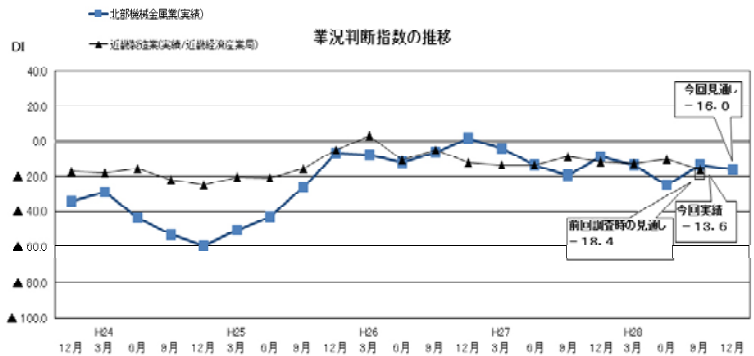
(2016年7~9月実績/2016年10~12月見通し)

- 調査対象：綾部市以北5市2町の機械金属関係企業180社 【調査時点 平成28年9月下旬】
- 回答数：125社（回答率69.4%、内訳は以下のとおり。）
 - ①市町別 = 福知山市:26、舞鶴市:18、綾部市:16、宮津市・与謝郡:14、京丹後市:51
 - ②取扱別 = 一般機械:48、電気機械:14、輸送機械:31、精密機械:13、その他:16、未回答:3
 - (区分) 一般機械…工作機械、産業機械部品等 電気機械…家電部品、電子部品等
 - 輸送機械…自動車部品、船舶等 精密機械…半導体・液晶関連、精密機械部品等
 - ③従業員数別 = 1~9人:35、10~19人:27、20~49人:36、50~99人:12、100人以上:14、未回答:1
- ※アンケート調査の他に一部企業の訪問調査を実施 【調査機関：公益財団法人京都産業21北部支援センター】

— 調査結果 —

1 景況動向判断

●7~9月実績のDI(業況判断指数)は -13.6となり、4~6月期(以下「前回」)より11.0ポイント改善した(前回-24.6)。地域別では、福知山市域が-19.2(前回-20.9)、舞鶴市域が-5.4(前回-28.5)、綾部市域が-25.0(前回-38.8)、宮津市・与謝郡域が-49.9(前回-61.5)、京丹後市域が0.0(前回-10.0)と各地域毎においても改善の結果となった。



注：DI = (非常に良い+良い) - (非常に悪い+悪い)

●10~12月見通しのDIは-16.0と、前回より2.4ポイント改善の見通しとなり(前回-18.4)、実績同様北部全体で改善の見通しとなった。地域別では、福知山市域が-11.6(前回-16.7)、舞鶴市域が-27.8(前回-33.3)、綾部市域が-37.5(前回-11.7)、宮津市・与謝郡域が-42.9(前回-46.1)、京丹後市域が0.0(前回-8.0)と、綾部市域以外の地域で前回より改善の見通しとなった。

景況動向判断7~9月実績

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	0.8	16.8	51.2	28.8	2.4
福知山市	7.7	65.4	26.9		
舞鶴市	5.6	5.6	72.2		16.6
綾部市	12.5	50.0	37.5		
宮津・与謝	7.2	35.7	50.0		7.1
京丹後市	29.4	41.2	25.5		3.9

景況動向判断 10~12月見通し

地域	非常に良い	良い	普通	悪い	非常に悪い
全体	12.8	58.4	27.2		1.6
福知山市	11.5	65.4	23.1		
舞鶴市		72.2	27.8		
綾部市		62.5	37.5		
宮津・与謝		57.1	42.9		
京丹後市	25.5	49.0	21.6		3.9

2 採算状況

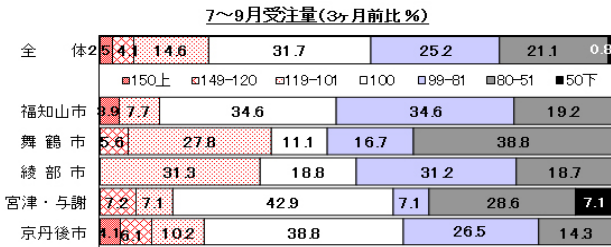
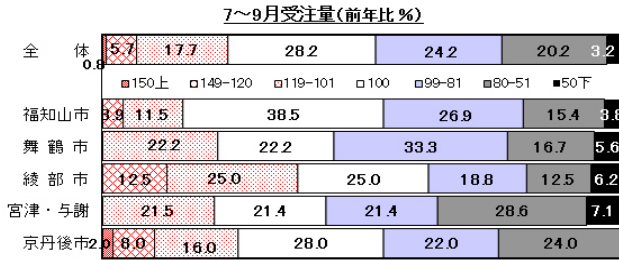
●7~9月の採算状況は、赤字とする企業が18.7% (前回20.8%)と2.1ポイント減少した。地域別では、宮津・与謝郡域以外の地域で黒字とする企業が赤字とする企業より多く、宮津市・与謝郡域においては、黒字とする企業がなかった。

7~9月採算状況

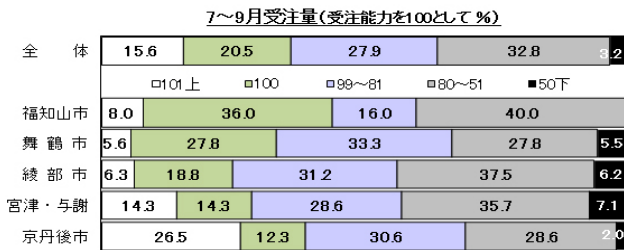
地域	黒字	トントン	赤字
全体	31.7	49.6	18.7
福知山市	38.5	42.3	19.2
舞鶴市	17.6	70.6	11.8
綾部市	31.3	50.0	18.7
宮津・与謝	50.0	50.0	
京丹後市	42.0	46.0	12.0

3 受注量

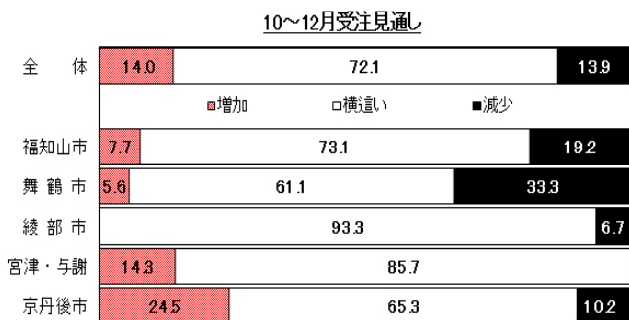
●7～9月の受注量は、対前年同期比100%以上を確保した企業が52.4%（前回47.6%）と4.8ポイント増加した。対3か月前比100%以上を確保した企業は52.9%（前回43.8%）と9.1ポイント増加した。地域別では、前年比で福知山、綾部、京丹後市域、3ヵ月前比で綾部、宮津・与謝、京丹後市域の5割以上の企業が100%以上の受注を確保できた。



●7～9月の受注量（稼働割合）は、100%以上とした企業が36.1%（前回32.5%）と前回より3.6ポイント増加した。全地域において受注能力100%以上の受注確保が5割を割り込んでいる。

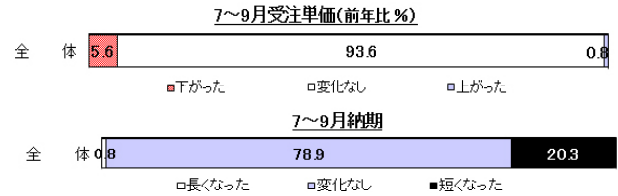


●10～12月の受注見通しは、増加を見込む企業の割合が14.0%（前回20.0%）と6.0ポイント減少し、減少を見込む企業の割合は13.9%（前回17.6%）と3.7ポイント減少の見通しである。



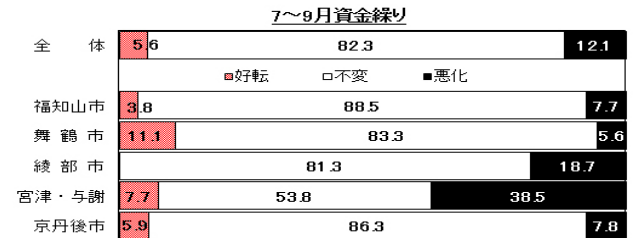
4 受注条件（受注単価／納期）

●受注単価が上がったとする企業は0.8%（前回3.2%）と2.4ポイント減少し、下がったとする企業は5.6%（前回10.3%）と、4.7ポイント減少した。また、納期が短くなったとする企業は20.3%（前回19.4%）と0.9ポイント増加した。



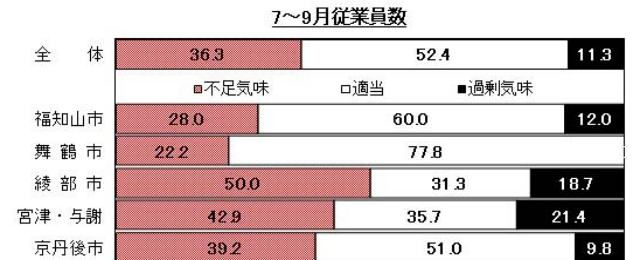
5 資金繰り

●資金繰りは、悪化とした企業が12.1%（前回18.1%）と前回より6.0ポイント減少した。綾部市域では、好転とする企業がなかった。



6 従業員数

●従業員数は、不足気味が36.3%（前回22.2%）、過剰気味が11.3%（前回13.5%）となった。全地域において、不足気味とする企業が過剰気味とする企業を上回っている。



7 円高による影響

●円高による影響は、全体で「受けていない」とする企業が37.6%と最も多く、「受けている」とする企業は13.6%であった。

